

平成30年度 第1回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

日 時：平成30年5月23日（水） 14：00 ～ 15：00

場 所：海老名市役所 3階 政策審議室

出席者：委 員 7名〔高橋委員、山川委員、小林委員、河野委員、田口委員、森島委員、前田委員〕

事務局 6名〔橋本部長（途中退席）、木村次長、澤田課長、林課長補佐、三木主査、川瀬主任主事〕

【概 要】

1 開 会

2 委員の委嘱について

【事務局：澤田課長より】

○中村委員が所属先からの転勤により退任となったため、被用者保険代表の推薦をお願いしている「神奈川県被用者保険等連絡協議会」より、後任として佐藤 利道 氏が推薦された。

○佐藤新委員には中村前委員の残りの任期である平成30年4月1日より31年3月31日までを担当していただく。

○本日の委嘱状交付については、佐藤新委員欠席のため行わず、ご紹介のみとさせていただきます。

3 あいさつ

【部長あいさつ】

○本日は、国民健康保険運営協議会にご出席いただき、お礼申し上げます。

○4月から国保の都道府県化等の制度改革が始まった。市においても、制度改革への円滑な対応につとめているところ。

○今年度第1回目ということで、国保の予算に関すること、また、昨年度委員にご協力いただいた、特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画についての報告などをさせていただきたい。

○4月から市の機構改革により、保健福祉部においても組織体制の変更があった。後ほど事務局よりご紹介させていただきます。

○国保の都道府県化は始まったばかりであるため、県等の協議会を通じて情報

交換を行い、引き続き国保事業の適正かつ円滑な運営に向けて努力していく。
○委員の皆様方におかれましても、引き続きご協力をいただけるようお願い申し上げます。

【会長あいさつ】

- 国民健康保険制度が抱える諸問題に対しての打開策として、4月から国保運営の都道府県化をはじめとする医療保険制度改革が本格的に動き出した。
- 本日の議題では、平成30年度国民健康保険税における賦課限度額の変更等についての説明や国民健康保険事業特別会計予算の概要説明、そして、特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画についての報告が予定されている。
- この協議会も、海老名市の適正な国保運営の一翼を担う組織として、各委員のご意見等をいただきながら、その役割を果たしていきたい。
- 本日も、皆様の忌憚のない意見を伺い、会議が有意義かつ円滑に進むようご協力をお願い申し上げます。

———— 部長退席 ————

※傍聴人なし※

4 議題（議事進行：田口会長）

(1) 平成30年度国民健康保険税における賦課限度額の変更等について

⇒【議題1 資料1】に基づき、事務局：澤田課長より説明。

【質疑等】なし

(2) 平成30年度海老名市国民健康保険事業特別会計予算の概要について

⇒【議題2 資料1】に基づき、事務局：林課長補佐より説明。

【質疑等】なし

(3) その他

①特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画について

⇒【議題3 ① 資料1・資料2】に基づき、事務局：澤田課長より説明。

【質疑等】なし

②平成30年4月実施の機構改革について（保健福祉部関係）

⇒【議題3 ② 資料1】に基づき、事務局：澤田課長より説明。

【質疑等】なし

5 閉会

【次長あいさつ】

- 本日の会議も、委員の皆様のご協力により滞りなく進めることができました。
- 国保の都道府県化がついにスタートしたが、窓口となるのはあくまでも市であり、市民にとって大きな変化はない。これまでどおり、滞りなく必要な事務を進めていく。
- 一般会計からの法定外繰入をどうしていくかという財政面の問題もこれまで同様に存在するが、今年度から国保税の収納業務を引き継いだ納税課との連携を深めながら、制度面、財政面ともに安定した運営をしていく。